



〇〇payが続々登場 auは最大26.5%を還元、セブン・ペイも参入



KDDI<9433>は2019年4月9日にスマートホン決済サービス「au PAY」の提供を始め、4月15日から順次開催する「au WALLETポイントつかえる！たまる！キャンペーン」では、支払い額の最大26.5%を還元する。

還元率の26.5%はpaypayやLINE PAYなどが実施してきたキャンペーンの還元率20%を大きく上回る。後発の劣勢を跳ね返し、一気に利用者を増やそうという作戦だ。

セブン&アイ・ホールディングス<3382>傘下のセブン・ペイも2019年7月からスマートホンによるバーコード決済サービス「7pay（セブンペイ）」のサービスを始める。

すでにダウンロード数が1100万を超えた「セブンイレブンアプリ」から登録することでセブンイレブンなどのセブン&アイグループ店でバーコード決済が可能になる。

ファミリーマートも独自のスマホ決済サービス「ファミペイ」を2019年7月にスタートする予定で、〇〇payは百花繚乱の様相を呈してきた。今後も〇〇payは増え続けるのか。それともいくつかのグループに集約されるのか。

消費税率の引き上げに伴い、キャッシュレス決済時に支払い額の一部を還元する施策がスタートする10月に以降に、〇〇payのたどる道筋が見えてきそうだ。

auも100億円キャンペーンを実施

KDDIはau PAYのサービス開始に当たって楽天と提携し、サービス開始当日から楽天グループが直接契約しているコンビニやドラッグストア、家電量販店、飲食店など全国約120万店の加盟店でau PAYが利用できるようにする。

さらに加盟店の拡充については、初期導入費用が全くかからず、2019年4月9日から2021年7月31日までの決済手数料を無料にするなどの対策を実施。さらにメルカリの子会社のメルペイと提携し、スマートホン決済サービスのメルペイとau PAY両決済サービスを利用できる店舗の開拓などにも取り組む。

支払いはau WALLET残高を使用する。au WALLET残高へのチャージはau WALLETポイント、auかんたん決済（通信料金合算支払い）、クレジットカードなどが利用でき、2019年夏からはセブン銀行ATMで現金のチャージも可能にする。

利用金額に応じて、200円ごとに1ポイント
(0.5%相当)、auスマートパスプレミアム会員は200円ごとに3ポイント(1.5%相当)のau WALLE
Tポイントを還元し、「au WALLE
Tポイントつかえる! たまる!
キャンペーン」期間中は、利用金額の最大26.5%をau WALLE
Tポイントとして還元する。

その一つとして、2019年4月15日から4月30日まではau WALLE
Tポイントをau WALLE
T残高にチャージするだけで総額を10%増額する。au WALLE
Tポイントからのチャージの上限は月間2万円で、残高の上限は100万円。チャージの総額が100億円に
達した時点でキャンペーンを終了する。

セブン&アイグループ以外の店舗でも利用可能

7 payは店頭レジやセブン銀行ATM、クレジットカードなどからチャージして使用する。バーコード決
済を行うと、nanacoポイントやグループの特典プログラムであるマイルなどが貯まる。

2019年10月をめどにセブンイレブンアプリに加え7payアプリの配信を始め、新たな機能を追加する
とともに、セブン&アイグループ以外の店舗でも利用できるようにする。

サービス開始時点でのキャンペーンの内容は明らかになっていないが、au
PAY同様に後発の劣勢を巻き返すような思い切った対策が見込まれる。当面〇〇payから目が離せない
。

文：M&A online編集部